



友愛の森(二中だより)

学校教育目標

二中文化を創造する生徒

学びが深まる授業の創造・認め合える学級の創造・共に高め合う学校の創造

令和6年2月1日発行



生徒のさらなる「幸福」「活躍」を目指して ～2学期学校評価を受けて～

校長 望月 俊伸

1月は全校朝礼がありませんでしたので、教務主任の佐野清文先生が取りまとめた「2学期学校評価アンケート」の結果(一部)をお知らせします。現状をご覧ください。結果につきましては、3学期の学校運営、来年度の経営方針に生かしていきたいと思っております。アンケートへのご協力ありがとうございました。

1. 学校教育目標「二中文化を創造する生徒」に関して

【生徒】自分で進んで取り組める活動が、学校生活の中にある。2学期：90.5% (1学期：92.6%)

【保護者】学校は、子供の個性を伸ばし、活躍できる場を与えている。2学期：90.6% (1学期：88.4%)

2. 重点「時を守り、場を浄め、礼を正す」に関して

【生徒】「時を守り、場を浄め、礼を正す」を意識して生活している。2学期：89.3% (1学期：90.5%)

【生徒】あいさつ、きまりなど学校、家庭・地域で学んだことを様々な場所で生かしている。

2学期：94.3% (1学期：94.2%)

【保護者】子供は、時間を守ったり、あいさつしたりすることができる。2学期：89.4% (1学期：89.1%)

3. 学校経営目標「全ての生徒が可能性を見出す教育活動の推進」に関して

【生徒】先生は、自分たちに学習面や生活面について、きちんと教えてくれる。2学期：95.9% (1学期：99.6%)

【生徒】先生は、私の話をよく聞いてくれる。2学期：92.7% (1学期：97.9%)

【生徒】いじめや悩み、困ったことがあると先生は、すぐに対応してくれる。2学期：89.0% (1学期：95.5%)

【保護者】学校(先生方)は、学校経営ビジョンを明確に示し、子供たちのために一生懸命取り組んでいる。

2学期：97.9% (1学期：96.5%)

【保護者】学校は、保護者や地域の意見を大切にしている。2学期：93.9% (1学期：93.4%)

【保護者】学校は、登校渋滞やいじめの兆候のある時には迅速に対応し、誰もが生き生きと生活できる集団づくりに取り組んでいる。

2学期：91.0% (1学期：90.0%)

【%は「とてもそう思う」「そう思う」の割合の合計値】

生徒・保護者共に、どの項目に関しても、概ね9割を超える肯定的な回答をいただきました。しかしながら、生徒アンケートの数値結果が1学期よりも低下している状況も見られます。また、「そう思わない」という生徒、保護者の方もいらっしゃいます。分析を丁寧に行い、少数の声にもしっかりと耳を傾け、これからも全ての項目で100%を目指して一層努力してまいります。

学校評価の中に項目はありませんでしたが、二中学生に育みたい4つの資質・能力「コミュニケーション力」「多面的な思考力」「情報分析力」「実践的応用力」についても、様々な機会に、生徒・教職員・外部の方々から評価をしていただきました。4年間、これらの資質・能力を育成することを目指して、本校の教育活動を行ってまいりましたが、ここで一度、生徒に十分身に付いているのか、まだ不十分であるのかを検証し、継続すべきか見直すべきかを、検討することにしました。中でも、「コミュニケーション力」(目指す姿：考えを自分の言葉で表現し、伝え合う生徒)に関しては、4つの資質・能力の中では、最も身に付いているという評価を多くいただきました。しかし、細かく分析してみると、○自分の考えを伝える、発信することができる生徒は多い。○近い関係の中でのコミュニケーションは十分取れる。●考えをつなげる、付け足す、深める力が弱い。●仲間の良さを見つけ、伝えることに課題が見られる。という意見があり、「コミュニケーション力」にも課題を残していることが分かりました。については来年度、この資質・能力については発展的な見直しとして「コラボレーション力」(目指す姿：他者と協働しながら、課題解決に取り組む生徒)に変更したいと考えています。他の3つの資質・能力「多面的な思考力」「情報分析力」「実践的応用力」については、変更する予定はありません。詳しくは、新年度になりましたら「令和6年度富士宮第二中学校グランドデザイン」としてお示しします。今後も、学校・家庭・地域で同じ意識を持ち、同じ方向を向いて子供たちを育てていけたらと思います。引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

教育の日（1月13日実施）

1年生 「職業講話」・学年討論会「働くということ」



2年生 「中学校卒業後の自分を考える」 高校説明・卒業生による高校説明（動画）



3年生 「よりよい社会を創造する人」 面接練習・講話



5・6組 「マイカレンダー発表会」・「社会に出るために必要なこと」講話



どの学年も、自分の将来や生き方を考える貴重な機会となりました。ご回答いただいたアンケートには、「子供にとって、なかなか職業や仕事をしている人からの情報を知る機会がないので、とても貴重な体験をしたと思う。仕事選びや今培っておくべきポイントを理解するきっかけになったと思う。」「質問のときに、手を上げて発言する生徒が多いと思った。真っ直ぐ話を聞き、メモを取る素直な姿勢を見ることができた。」「まちづくりに大いに役立てたいと思う。私の方が感謝したいと思う。愛校心がしっかりあり、一人一人に力があると感じた。」「今、学校で教えていただいていることが、そのまま社会に出るために必要であると再確認できた。」など、ご参加いただいた皆様には生徒の活躍を褒めていただきました。

地域に根ざした教育活動を今後も行っていきたいと思います。
講師・地域・家族の皆様、ありがとうございました。



昭和33年度卒業生の皆様から
20,970円の寄附をいただきました。
各学年のフロアに新聞を入れるためのパンフレットスタンドを購入させていただきました。
ありがとうございました。